

比喩理解における解釈の多様性と知識の構築の関係

The relationship between metaphor familiarity and interpretation diversity. : Mapping the representation of metaphor interpretation.

平 知宏 / Taira Tomohiro (sakusha@syd.odn.ne.jp)
京都大学大学院教育学研究科 / 日本学術振興会

比喩理解のプロセス

従来の比喩研究の流れ

- 比喩文の理解には類似性認知の過程 (Alignment Process) と抽象化の過程 (Abstraction Process) の2つが想定されており (Bowdle & Gentner, 2005; Glucksberg, 2003), どちらの過程が重視されているかを定める要因を探ることが, 現在の比喩研究の主な争点である (Jones & Estes, 2005・2006).
- 直喩 (AはBのようだ) と隠喩 (AはBだ) のいずれの形式が好まれるかで, 比喩理解の際に類似性認知の過程と抽象化の過程のどちらが重視されているかが探られている.
- 直喩形式が好まれる場合: "ようだ" という表記により, 主題と喩辞の類似点に注目する必要がある. 類似性認知の過程が重要となる.
- 隠喩形式が好まれる場合: 主題と喩辞の類似性が既に強く想定されているため, "AはBだ" の断定文として表記され得る. 抽象化の過程が重要となる.

Utsumi & Kuwabara (2005) : 解釈多様性理論

- 一つの比喩文から解釈多様な解釈がなされるものほど, 隠喩形式で表現されやすい.
- 抽象化の過程に移行するには, 主題と喩辞の類似点を踏まえた上で, 多様な解釈がなされる必要がある.

Chiappe & Kennedy (2001)

- 比喩文の親しみやすさと適切性が, 直喩と隠喩の選好性に影響を与えている. 親しみやすくて適切な比喩ほど, 隠喩形式が好まれている.
- 類似点を知覚させる要因として, 親しみやすさ (familiarity) が強く関わってくる.

実験

目的

- 本研究では解釈データを直に用いることにより, 比喩理解の構造を探る.
- 比喩文の解釈対象の構造について, 親しみやすさと解釈多様性の観点から検討を行う.

方法

- 参加者
 - 文系大学生46名 (平均20.4歳)
 - 質問紙による集団形式で実施
- 材料
 - 平・楠見 (2005a) で用いた比喩文のうち10文.
 - 5つの文は親しみのある比喩文 (e.g. 人生はギャンブルのようだ), 別の5つの文は親しみのない比喩文 (e.g. 結婚は冷蔵庫のようだ).
 - それぞれの比喩文から産出された解釈タイプを, 頻度順に10個用意.
- 手続き
 - それぞれの直喩文に対してあてがった10の解釈のうち, その文の適切であると思われるものを3-5個の範囲で選択させた.

結果

- 適切な解釈の選択数
 - 親しみのある比喩 (M=4.0; SD=0.5) > 親しみのない比喩 (M=3.5; SD=0.3)
 - $t(45)=9.675, p < .001$ **親しみのある比喩の方が, 多くの解釈が適切であると判断された.**
- 解釈の共通選択頻度に基づいた多次元尺度法布置

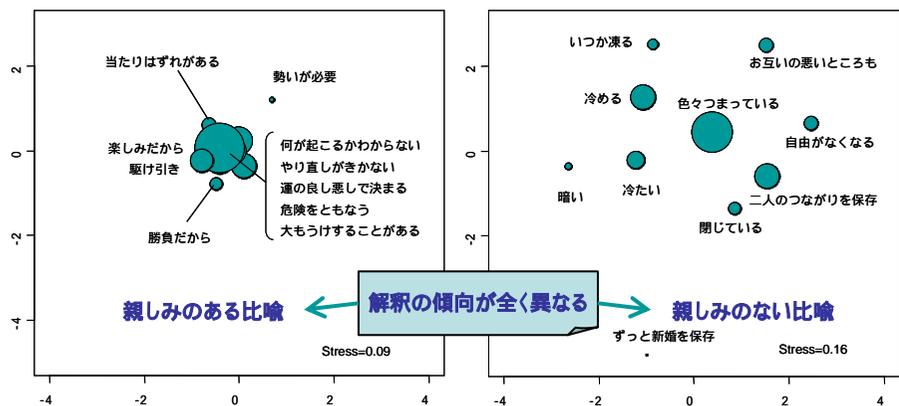


Fig 1. 「人生はギャンブルのようだ」
解釈の多次元尺度法配置と選択頻度

Fig 2. 「結婚は冷蔵庫のようだ」
解釈の多次元尺度法配置と選択頻度

考察 & 展望: 解釈の多様性は何をもたらしているのか?

結果から

- 親しみのある比喩は, 個人内で多様な解釈が想起され, かつそのパターンが個人間で類似している.
- 比喩文の解釈は多様であり, 多義的である.
- 親しみのない比喩は, 個人内で想起される解釈が少なく, 想起のパターンも個人間でばらばらである.

研究の展開

- 喩辞の比喩的意味の活性化
 - 親しみやすく, 適切な比喩ほど喩辞の比喩的な意味 (e.g. 言葉は武器 傷つける) は活性化されている. (Blasko & Connine, 1993; Taira & Kusumi, 2006)
 - 互いに関連する意味が強く結びつきあっていることにより, 比喩的意味全体が活性化している?

■ 面白さの認知メカニズム

- 比喩文を面白いと感じる過程には, 様々な解釈がなされるかどうか, 多くの解釈がなされるかどうかに関わる (Utsumi, 2006; 平・中本・楠見, 2006a).
- 含意するものが多いことによる, 一種の伝達効果, 推意の誘発に関係 (Sperber & Willson, 1995).

■ 比喩文理解と文章読解 (平・楠見, 2005b)

- 親しみのない比喩を用いて文を読むと, その文脈で比喩が適切であっても, 比喩と関連する文を読む際の読解時間が遅延する.
- 親しみのある比喩を用いた場合, 主題に関する知識が喩辞にもとづいた形で構築されている.
- 乏しい解釈に基づいた情報獲得の難しさと, 多様な解釈に基づいた情報の利用可能性.

結論

- 比喩理解の構造を, 隠喩と直喩の選好性という方法以外から示した.
- 親しみのある比喩は多様な解釈を生み出し, その結果として豊かな情報を含意し, 伝達することに成功する.

備考

本研究は, 平・中本・楠見 (2006b) で発表したデータを元に展開している.

比喩理解における解釈の多様性と知識の構築の関係

The relationship between metaphor familiarity and interpretation diversity. : Mapping the representation of metaphor interpretation.

平 知宏 / Taira Tomohiro (sakusha@syd.odn.ne.jp)
京都大学大学院教育学研究科 / 日本学術振興会

実験に用いた材料一覧

親しみのある比喩

- 人生はギャンブルのようだ
 - ・何が起るかわからないから
 - ・運の良し悪しで決まるから
 - ・危険を伴うから
 - ・当たりはずれがあるから
 - ・勢いが必要だから
 - ・やり直しがきかないから
 - ・駆け引きがあるから
 - ・楽しみだから
 - ・勝負だから
 - ・大もうけすることがあるから
- 言葉は武器のようだ
 - ・人を傷つけるから
 - ・心に刺さるから
 - ・人を殺すから
 - ・人を従わせるから
 - ・様々な種類があるから
 - ・人を傷つけたり守ったりするから
 - ・慎重に扱う必要があるから
 - ・脅せるから
 - ・自分を守るから
 - ・どちらも機関銃のように早いから
- 悲しみは海の底のようだ
 - ・暗いから
 - ・押しつぶされそうだから
 - ・沈んでいるから
 - ・冷たいから
 - ・周りが見えなくなるから
 - ・深いから
 - ・光がとどかないから
 - ・なかなか抜け出せないから
 - ・底が見えないから
 - ・深い青(ブルー)だから
- 時間はお金のようだ
 - ・貴重だから
 - ・大切だから
 - ・無駄に使うから
 - ・使えばなくなるものだから
 - ・使わなくてもなくなるから
 - ・限られたものだから
 - ・使い方を怠るから
 - ・すぐになくなるから
 - ・使うものだから
 - ・何かを生み出すものだから
- 恋は病気のようだ
 - ・苦しいから
 - ・心が痛むから
 - ・人を変えるから
 - ・正常な状態でないから
 - ・すぐには治らないから
 - ・思い悩んでしまうから
 - ・まわりが見えないから
 - ・冷静な思考ができなくなるから
 - ・熱っぽくなるから
 - ・一時的なものだから

親しみのない比喩

- 酒は恋人のようだ
 - ・良い気分にさせてくれるから
 - ・酔わせてくれるから
 - ・依存すると大変だから
 - ・どちらも楽しませてくれるから
 - ・毎日飲みたくなるから
 - ・依存するから
 - ・おぼれるから
 - ・離れられないから
 - ・嫌なことを忘れられるから
 - ・いつでも相手にしてくれるから
- 議論は建築物のようだ
 - ・色々な意見が積み重なるから
 - ・どんどん積み重なるから
 - ・たくさんの人で作るから
 - ・目的があるから
 - ・最後にちゃんと結果が出るから
 - ・自分の考えを組み立てるから
 - ・土台がしっかりするから
 - ・くずれるものだから
 - ・どれだけ高くなるかわからないから
 - ・手を抜くことができるから
- 知識はアクセサリーのようだ
 - ・価値があるから
 - ・あればあるほど良いから
 - ・集めていくから
 - ・ひけらかすことができるから
 - ・見せかけだから
 - ・身につけるものだから
 - ・輝くから
 - ・種類があるから
 - ・あればあるほど美しいから
 - ・なくても生きていけるから
- 結婚は冷蔵庫のようだ
 - ・色々詰まっているから
 - ・冷めるから
 - ・自由がなくなるから
 - ・閉じているから
 - ・暗いから
 - ・二人のつながりを保存するから
 - ・冷たいから
 - ・お互いの悪い所も見えてくるから
 - ・いつか凍るから
 - ・ずっと新婚を保存するから
- 学力は貨幣のようだ
 - ・あって困ることはないから
 - ・使わなければ意味がないから
 - ・重要だから
 - ・高収入に結びつくから
 - ・なくても生きていけるから
 - ・価値があるから
 - ・努力すれば得られるから
 - ・使えるものだから
 - ・かわりに得られるものがあるから
 - ・いつか使ってなくなるから

Reference

- Blasko, D., & Connie, C. M. (1993). Effects of familiarity and aptness on metaphor processing. *Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition*, 19, 259-308.
- Bowdle, B., & Gentner, D. (2005). The Career of Metaphor. *Psychological Review*, 112, 193-216.
- Chiaape, D., & Kennedy, J. M. (2001). Literal bases for metaphor and similes. *Metaphor and Symbol*, 16, 249-397.
- Glucksberg, S. (2003). The psycholinguistics of metaphor. *TRENDS in Cognitive Sciences*, 7, 92-96.
- Jones, L., & Estes, Z. (2005). Metaphor comprehension as attributive categorization. *Journal of Memory and Language*, 53, 110-124.
- Jones, L., & Estes, Z. (2006). Roosters, robins, and alarm clocks: Aptness and conventionality in metaphor comprehension. *Journal of Memory and Language*, 55, 18-32.
- 平知宏・楠見孝 (2005a). 比喩の親しみやすさによる意味解釈の差異. *日本心理学会第69回大会発表論文集*, 941.
- 平知宏・楠見孝 (2005b). 文章読解及び記憶検索過程における比喩の親しみやすさの持つ効果. *日本認知科学学会第22回大会発表論文集*, 140-141.
- Taira, T. & Kusumi, T. (2006). The Effect of Metaphor Familiarity on Semantic Activation of Topic and Vehicle. *Proceedings of the 28th Annual Conference of the Cognitive Science Society*, 2614.
- 平知宏・中本敬子・楠見孝 (2006a). 直喩文の理解容易性と解釈多様性が面白さに及ぼす効果: 理解がしやすく多くの解釈ができるから面白い. *日本心理学会第70回発表論文集*, 240.
- 平知宏・中本敬子・楠見孝 (2006b). 比喩文の親しみやすさと解釈の多義性の関係: 解釈の共起情報を用いた直喩文の意味空間記述. *日本認知科学学会第23回発表論文集*, 218-223.
- Sperber, D., & Wilson, D. (1995). *Relevance: Communication and cognition* (2nd ed). Cambridge, MA: Harvard University Press.
- Utsumi, A. (2005). The role of feature emergence in metaphor appreciation. *Metaphor and Symbol*, 20, 151-172.
- Utsumi, A. & Kuwabara, Y. (2005). Interpretive diversity as a source of metaphor-simile distinction. *Proceedings of the 27th Annual Meeting of the Cognitive Science Society*, 2230-2235.